

平成 25 年度 新潟市動物ふれあいセンター事業報告書

新潟市動物ふれあいセンター

館長 田中 和志



1. 施設の利用状況に関する事項

(総括)

平成 25 年 7 月に来館者数 20 万人を達成、10 月にいくとびあ食花全体の来館者数 100 万人を達成するなど、想定以上の多数の方々にご利用していただいた (1-①)。入館者数の推移は、グラフ (1-a) のとおり 4~5 月のゴールデンウィーク~オープンをピークとして減少傾向にあったが、体験プログラム利用団体や視察などを多く受け入れ、充実したサービスを提供することができた (1-②、③)。

ふれあい体験イベントや団体体験プログラム、交流 (コラボ) イベントなど季節に応じた様々な企画を来館者に提供することでサービスの質を向上させるとともに、当スタッフの育成や新潟市食育・花育センターや新潟市こども創造センターとの連携を強化することができた (1-④、⑤)。

新潟市内の中・高・専門学校・大学を中心に、学外実習 (インターンシップ) を多く受け入れ、教育ファームとして積極的に教育活動を支援した (1-⑥)。

譲渡推進活動状況に関して、新潟市保健所との密な連携、犬・猫の適正な飼育管理、掲示物・配布物の充実、譲渡会の円滑な運営などを心掛け、譲渡率 99.1% (譲渡頭数 106/107 頭) という高い実績を挙げる事ができた (1-⑦)。次年度は新潟市保健所との役割分担を明確化するとともにより幅広く関わり、本年度同様の高い譲渡率を達成していきたい。

ホームページに関して、目標を上回る回数の更新を経て最新の情報を提供したが、目標のアクセス数には届かなかった (1-⑧)。次年度は内容の更なる充実とアクセスしてもらえる仕組み作りに尽力する。

パブリシティに関して、オープン初年度ということもあり多くの報道関係団体に取材していただいた (1-⑨)。このコネクションを次年度にいかにか活かすかが今後の施設発展の大きな鍵となると考える。

寄付状況に関して、来館者からの要望もあって 8 月から館内に「チャリティ・ボックス」を設置したところ、タオルを中心とした多数の寄付が集まった (1-⑩)。頂いた物をただ使わせていただくだけでなく、どのように使いどれだけの効果を生んだかをアピールすることで、更なる協力が得られると考える。

苦情・事故に関して、オープン当初は体制が整っていない状況の中、不十分な点を数件ご指摘いただいたが、オープン後は苦情も事故もなく運営することができた (1-⑪)。また、2 月にあった双子用ベビーカーの通行に関する要望に対しては、新潟市保健所と相談のうえ縦型の双子用ベビーカー 1 台 (いくとびあ食花全体で 3 台) を用意した。

オープン以降のアンケートからは、81.7%という高い満足度を得ることができた (1-⑫)。本年度と同様、次年度も利用者の声に真摯に耳を傾け、利用者の求める充実した施設にしていきたい。

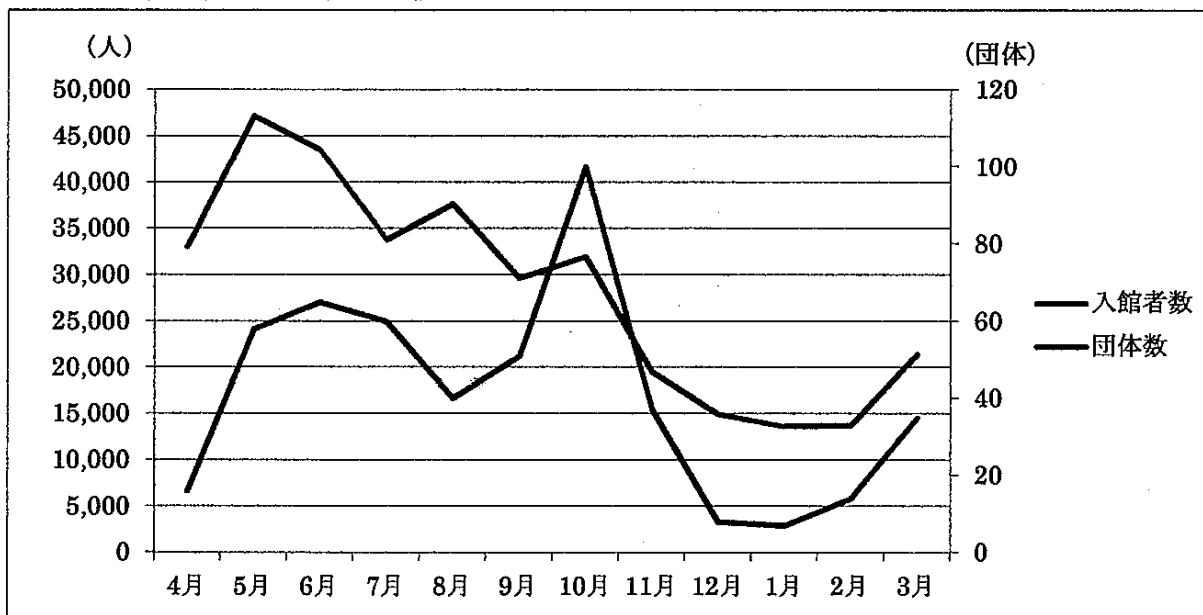
①入館者数

	単月			累計			前年比較	
	目標 (人)	実績 (人)	達成率 (%)	目標 (人)	実績 (人)	達成率 (%)	累計 (人)	前年比 (%)
4月	10,000	33,017	330.2	10,000	33,017	330.2	-	-
5月	30,000	47,215	157.4	40,000	80,232	200.6	-	-
6月	20,000	43,565	217.8	60,000	123,797	206.3	-	-
7月	20,000	33,786	168.9	80,000	157,583	197.0	-	-
8月	40,000	37,653	94.1	120,000	195,236	162.7	-	-
9月	20,000	29,658	148.3	140,000	224,894	160.6	-	-
10月	20,000	31,968	159.8	160,000	256,862	160.5	-	-
11月	10,000	19,527	195.3	170,000	276,389	162.6	-	-
12月	10,000	14,968	149.7	180,000	291,357	161.9	-	-
1月	10,000	13,612	136.1	190,000	304,969	160.5	-	-
2月	5,000	13,709	274.2	195,000	318,678	163.4	-	-
3月	5,000	21,450	429.0	200,000	340,128	170.1	-	-
25年度	-	-	-	200,000	340,128	170.1	-	-

②団体の利用状況

	件数	人数	主な団体
4月	16	536	曾野木まるみ幼稚園 100人、他
5月	58	3,262	東新潟特別支援学校 16人、他
6月	65	3,207	五十嵐小学校 130人、他
7月	60	1,759	福島県立金山中学校 3人、他
8月	40	1,570	JA新潟みらい 52人、他
9月	51	2,533	新潟大学附属小学校 35人、他
10月	100	4,548	新潟こども医療専門学校 79人、他
11月	37	1,406	流作場保育園 57人、他
12月	8	315	キッズクラブ 43人、他
1月	7	274	新潟日報旅行センター 40人、他
2月	14	764	早通シニアクラブ 20人、他
3月	35	1,215	大鷲保育園 58人、他
25年度	491	21,389	

1 - a 入館者数と団体数の推移



(分析と対策)

入館者数の推移 (青) より、5月 (ゴールデンウィーク)、8月 (夏休み)、10月 (秋の遠足)、3月 (春休み) が増加時期であることがわかる。また、7月、9月、冬期に入館者数が減少することもわかる。

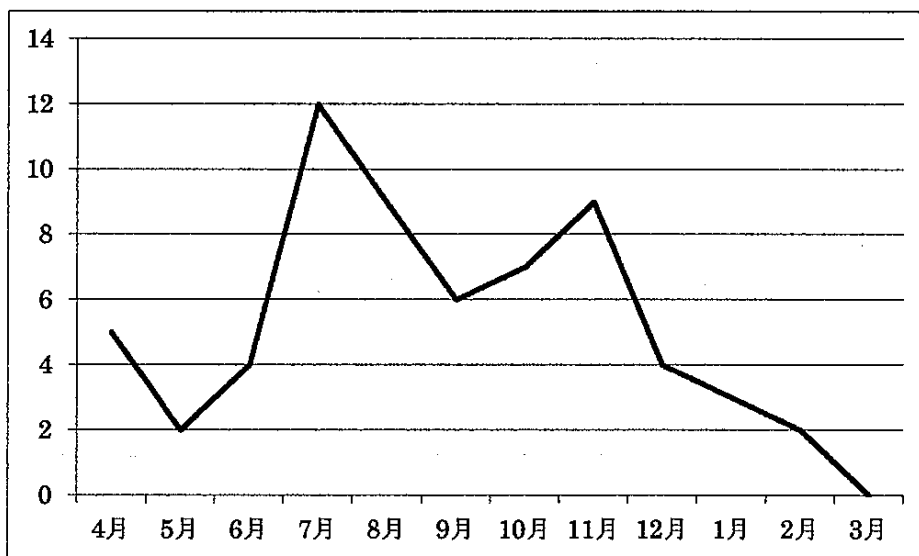
団体数の推移 (赤) より、6月、10月、3月の遠足シーズンに団体数が増加することがわかる。また、8月 (夏休み) と12~1月 (冬休み) に減少することもわかる。

7月の一般入館者数が減少する時期に団体利用が比較的多いこと、8月の団体利用が減少する時期に一般入館者数が多いというこの良い傾向を認識したうえで、人気の高いイベントや教育効果の高いプログラム、冬ならではの季節イベントなどを能動的に提供し、より多くの方々に利用していただける施設を目指したい。

③視察の受け入れ状況

	件数	人数	主な視察
4月	5	110	農林水産大臣、他
5月	2	15	姫路市議会、静岡県議会
6月	4	81	秋葉区校長会、他
7月	12	261	大都市総務局長会議、他
8月	9	184	新潟県教育委員会、他
9月	6	102	新潟市小学校教育研究協議会、他
10月	7	126	中部地区獣医師会、他
11月	9	123	秋篠宮殿下、他
12月	4	19	前ユネスコ日本政府代表部 特命全権大使、他
1月	3	29	長野県庁、他
2月	2	29	高松市議会、五泉市役所
3月	0	0	
25年度	73	1,079	

1 - b 視察数の推移



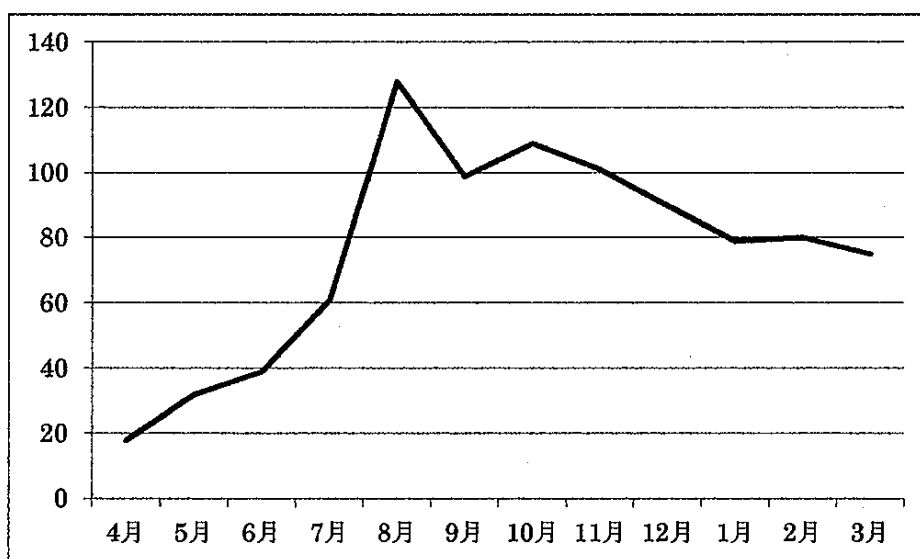
(分析と対策)

本年度については、7月と11月の視察が圧倒的に多かった。今後も同様の傾向が予想されるため、7月と11月を上期と下期のアピールポイントととらえ、施設や設備の改善、掲示物や配布物の充実、スタッフの説明や接客サービスのスキルの向上、魅力あるイベントやプログラムの提供を心がけたい。

④ふれあい体験・イベント実施状況

	単月			累計			前年比較	
	目標 (回)	実績 (回)	達成率 (%)	目標 (回)	実績 (回)	達成率 (%)	累計 (回)	前年比 (%)
4月	14	18	128.6	14	18	128.6	-	-
5月	15	32	213.3	29	50	172.4	-	-
6月	20	39	195.0	49	91	185.7	-	-
7月	20	61	305.0	69	152	220.3	-	-
8月	20	128	640.0	89	280	314.6	-	-
9月	20	99	495.0	109	379	347.7	-	-
10月	20	109	545.0	129	488	378.3	-	-
11月	15	101	673.3	144	589	409.0	-	-
12月	12	90	750.0	156	679	435.3	-	-
1月	15	79	526.7	171	758	443.3	-	-
2月	14	80	571.4	185	838	453.0	-	-
3月	15	75	500.0	200	913	456.5	-	-
25年度	-	-	-	200	913	456.5	-	-

1-c ふれあい体験・イベント実施回数の推移



(分析と対策)

オープン初年度ということで、4～6月は体制の整備に手間取り、体験・イベントの数も内容も不十分であったが、7月以降は充実させることができた。

本年度に企画・実施したものを改めて精査し、次年度は提供する時期と内容を検討し、一般入館者にも教育関連団体にも満足してもらえる施設づくりを目指したい。

⑤交流（コラボ）イベント・プログラム実施状況

	回数	人数	主なイベント
4月	1	25,098	ゴールデンウィークスペシャル(7日間)
5月	4	6,359	オープニングイベント(2日間)
6月	0	-	
7月	1	-	どうぶつ七夕(7日間)
8月	5	4,626	夏休み子どもまつり(2日間)
9月	2	3,610	動物ふれあいフェスタ(1日間)
10月	3	3,645	秋の収穫感謝祭(2日間)
11月	0	-	
12月	1	4,114	クリスマスフェスタ(3日間)
1月	2	950	にいがた体感フェスタ(1日間)
2月	1	15	アルパカ原毛の植物染め・マスコット作り(1日間)
3月	1	2,396	春花・舞花(2日間)
25年度	21	50,813	

※要求水準：交流イベント4回以上/年、コラボ事業10回以上/年。

※人数は、3館合同企画(交流)イベントなど計測できるもののみ記載。

⑥インターンシップ実習等の受け入れ状況

	団体数	人数	主な団体
4月	0	0	
5月	0	0	
6月	1	6	第一学院高等学校
7月	2	10	鳥屋野中学校、白根北中学校
8月	4	7	麻布大学、千葉科学大学、他
9月	1	3	新潟大学
10月	6	33	東石山中学校、亀田西中学校、他
11月	3	82	江南高等特別支援学校、曾野木中学校、他
12月	0	0	
1月	0	0	
2月	1	7	国際ペットワールド専門学校
3月	1	7	国際ペットワールド専門学校
25年度	19	155	

⑦譲渡推進活動状況

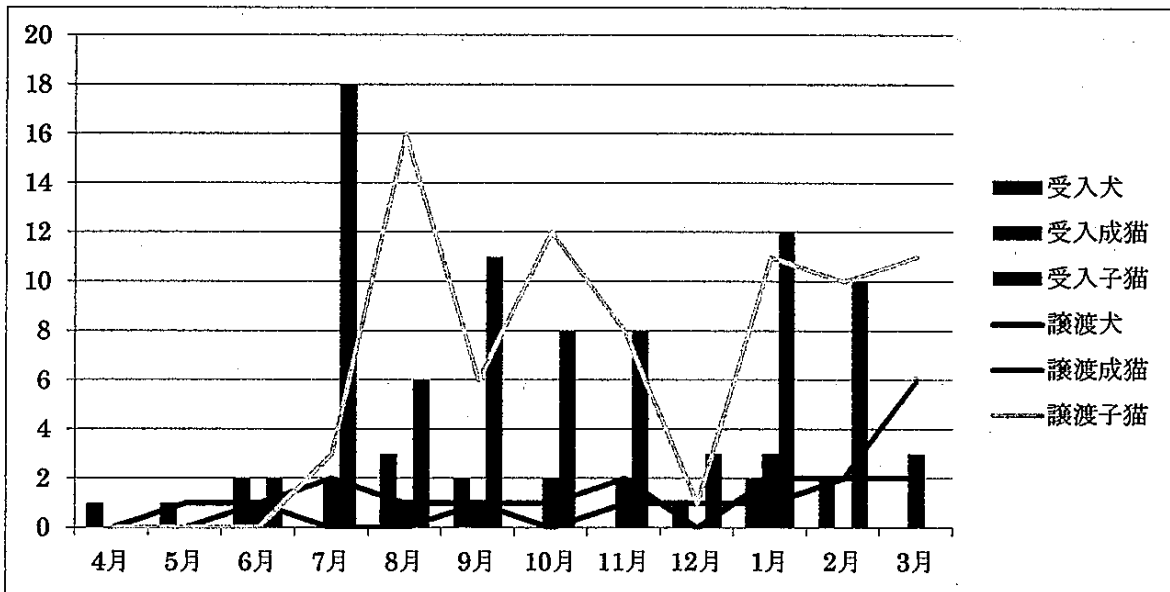
単位：頭

4月	月初め	受入れ	譲渡	月末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	0	1	0	1	0	0	0
成猫	0	0	0	0	0	0	0
子猫	0	0	0	0	0	0	0
5月	月初め	受入れ	譲渡	月末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	1	1	1	1	1	0	50.0
成猫	0	0	0	0	0	0	0
子猫	0	0	0	0	0	0	0
6月	月初め	受入れ	譲渡	月末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	1	2	1	2	2	0	33.3
成猫	0	1	1	0	1	0	100
子猫	0	2	0	2	0	0	0
7月	月初め	受入れ	譲渡	月末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	2	0	2	0	4	0	100
成猫	0	2	0	2	1	0	0
子猫	2	18	3	17	3	0	15.0
8月	月初め	受入れ	譲渡	月末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	0	3	1	2	5	0	33.3
成猫	2	1	0	3	1	0	0
子猫	17	6	16	7	19	1	69.6
9月	月初め	受入れ	譲渡	月末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	2	2	1	3	6	0	25.0
成猫	3	1	1	3	2	0	25.0
子猫	7	11	6	12	25	0	33.3
10月	月初め	受入れ	譲渡	月末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	3	0	0	3	6	0	0
成猫	3	2	1	4	3	0	20.0
子猫	12	8	12	8	37	0	60.0
11月	月初め	受入れ	譲渡	月末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	3	0	1	2	7	0	33.3
成猫	4	2	2	4	5	0	33.3
子猫	8	8	8	8	45	1	50.0
12月	月初め	受入れ	譲渡	月末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	2	1	1	2	8	0	33.3
成猫	4	0	0	4	5	0	0
子猫	8	3	1	10	46	0	9.1
1月	月初め	受入れ	譲渡	月末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	2	2	1	3	9	0	25.0
成猫	4	3	2	5	7	0	28.6

子猫	10	12	11	11	57	1	50.0
2月	月初め	受入れ	譲渡	月末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	3	2	2	3	11	0	40.0
成猫	5	0	2	3	9	0	40.0
子猫	11	10	10	11	67	0	47.6
3月	月初め	受入れ	譲渡	月末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	3	0	2	1	13	0	66.6
成猫	3	3	6	0	15	0	100
子猫	11	0	11	0	78	0	100
25年度	年度初め	受入れ	譲渡	年度末	年間譲渡	出戻り	譲渡率(%)
犬	0	14	-	1	13	0	92.3
成猫	0	15	-	0	15	0	100
子猫	0	78	-	0	78	3	100

※年間譲渡率：99.1%（年間譲渡頭数106/107頭）。

1-d 犬・成猫・子猫の受入頭数と譲渡頭数の推移



(分析と対策)

犬（青）と成猫（赤）に関しては、通年を通して安定的な受入れと譲渡の頭数で推移したが、子猫（緑）に関しては、かなり変動的であった。7月、9月、1月と3回の受入れピークがあったものの、7月と9月に十分な譲渡推進が行えなかった。また、10月と11月も8頭ずつの子猫を受け入れたものの、12月は1頭しか譲渡することができなかった。

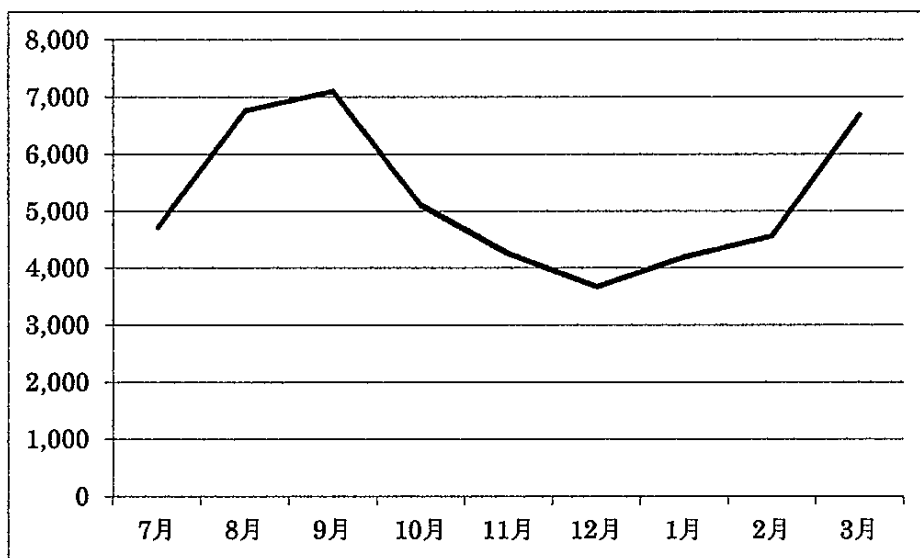
施設内で飼育頭数が増加することは、スタッフの業務量や飼育管理コストを圧迫するのみならず、動物たちへの感染症のリスクや精神的ストレスを増大させることにも繋がるため、本年度の傾向を参考にしながら、次年度は計画的に臨時譲渡会を開催するなどして速やかに新しい飼い主を見つける対策を講じていきたい。

⑧ホームページの更新回数とアクセス数

	更新回数	アクセス数	備考
4月	-	-	
5月	-	-	ホームページ開設
6月	25	-	
7月	25	4,722	アクセス数カウンター設置
8月	25	6,767	
9月	25	7,106	
10月	25	5,108	
11月	25	4,253	
12月	25	3,680	
1月	25	4,199	
2月	50	4,569	ブログ開設
3月	50	6,692	
25年度	300	47,096	

※要求水準：情報更新 20 回以上/年、アクセス 10 万件以上/年。

1-e ホームページアクセス数の推移



(分析と対策)

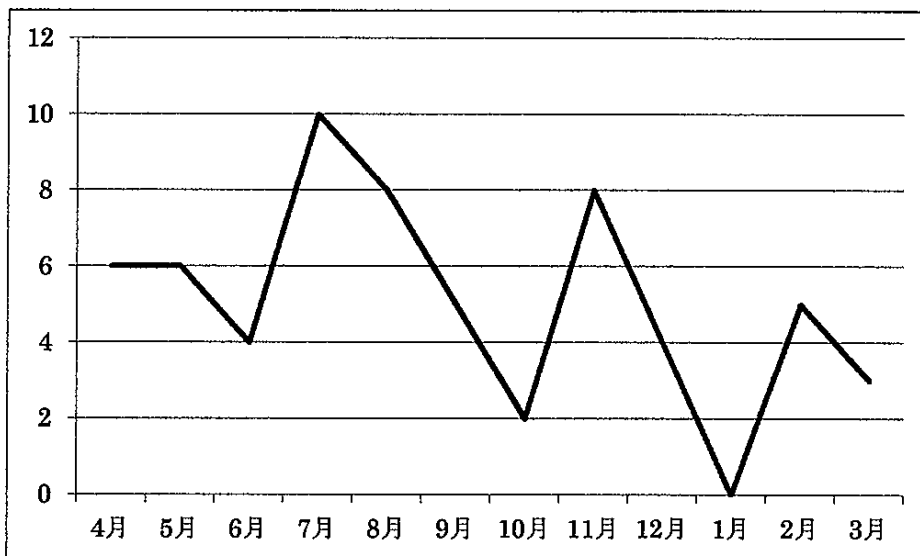
オープン初年度ということで、4～6月は体制の整備に手間取り、魅力あるホームページの制作に十分な時間を費やすことができなかった。7～9月には順調に伸びたアクセス数も、コンテンツ不足によりその数を維持することができなかった。2月からホームページ内でブログを開設し、アクセス数は回復することができたものの、目標の10万件を達成することはできなかった。

次年度は、いくとびあ食花全体としてのスケールメリットを活かし、またブログを含めた様々な魅力的なコンテンツを提供し、アクセス数10万件を達成したい。

⑨パブリシティ状況

	件数	主な報道関係団体
4月	6	NHK、UX、ニュース・ライン、アミックス
5月	6	TeNY、NST、BSN、新潟日報、FM-Port
6月	4	NHK、BSN、NCV、ニュース・ライン
7月	10	UX、新潟日報、読売新聞、新潟市小学校長会、他
8月	8	TeNY、NCV、新潟日報、朝日新聞、FM-Port、北陸ガス
9月	5	NST、育ちの森
10月	2	新潟日報、朝日新聞
11月	8	NHK、TeNY、新潟日報、朝日新聞、経済産業調査会、他
12月	4	TeNY、FM-Port、KCC
1月	0	
2月	5	NST、新潟日報、産経新聞、NIC
3月	3	NCV、ニュース・ライン、KCC
25年度	61	

1-f パブリシティ件数の推移



(分析と対策)

パブリシティ件数の推移より、7月と11月をピークとして非常に波があることがわかる。この波は視察の受け入れ状況（1-③）と似た傾向にあり、何らかの因果関係があるのかもしれない。

次年度は、7月に来館した報道関係者には10月の魅力的な情報を、11月に来館した道関係者には1月の魅力的な情報を、それぞれ提供できるよう準備しておきたい。また、それらの情報は視察団体にも提供していきたい。

⑩寄付状況

	個数	主な寄付
4月	-	
5月	-	
6月	-	
7月	-	
8月	178	タオル174枚、猫用ソファ4個
9月	3	タオル3枚
10月	44	タオル39枚、牧草2袋、ウサギ用ペレット1袋、古新聞
11月	81	タオル33枚、毛布1枚、猫用フード46個
12月	43	タオル40枚、キャットタワー1台、猫砂1袋、爪とぎ1個
1月	82	タオル71枚、布袋1枚、マット4枚、犬用おもちゃ6個
2月	23	タオル23枚
3月	41	タオル37枚、猫用カラー4個
25年度	495	

⑪苦情・事故

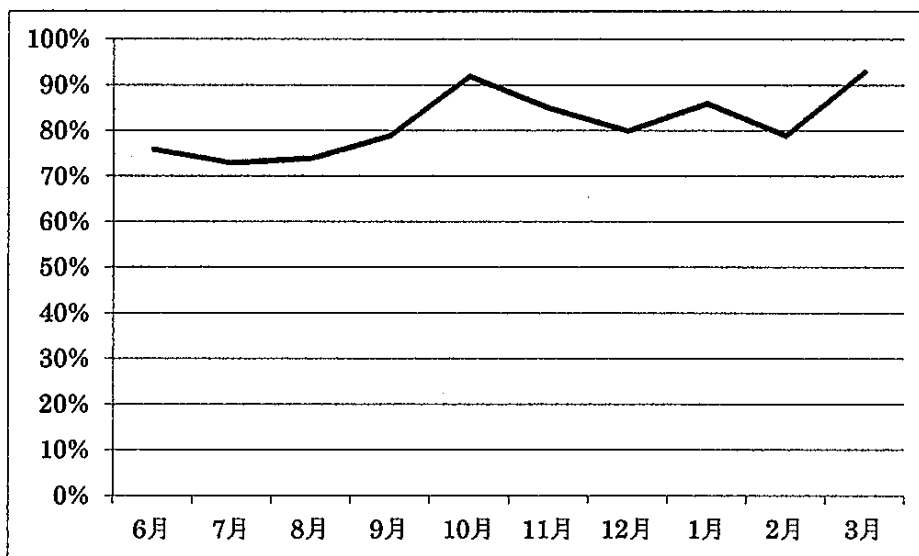
	件数	対象	内容	対応
4月	1	子ども	ヤギ飼育舎前で嘔吐	ビルコン消毒
5月	2	一般男性	イベント時に整理券がない	イベントによっては無いことを説明 (館内放送や掲示の内容を改善)
		一般男性	譲渡開始時期が不明瞭	6月から開始する旨を説明 (掲示物を改善)
6月	0			
7月	0			
8月	0			
9月	0			
10月	0			
11月	0			
12月	0			
1月	0			
2月	1	一般女性	横型の双子用ベビーカーが通れない	縦型の双子用ベビーカーを用意 掲示物と正面入口の扉を改善 (対応中)
3月	0			
25年度	4			

⑫利用者の満足度

	満足度(%)	アンケートの主なコメント
4月	-	
5月	-	
6月	76	子どもの教育に良いと感じた。動物が少ない。HPの充実を
7月	73	無料なのに楽しめる。渋滞の緩和対策を。休館日(月)の変更希望
8月	74	スタッフの対応が良い/悪い。もっと動物に触れたい。館内が暑い
9月	79	掲示物が良い。犬猫の譲渡情報をもっと知りたい
10月	92	授業で来館した。犬のことを学んだ。動物を増やしてほしい
11月	85	楽しかった、動物かわいかった、など
12月	80	楽しかった、譲渡の推進を希望、など
1月	86	えさやり体験を複数回したい
2月	79	スタッフの挨拶が良い
3月	93	募金箱を設置してほしい。殺処分を減らしてほしい。自分の県にもほしい
25年度	81.7	

※要求水準：満足度 80%以上。

1-g アンケート満足度の推移



(分析と対策)

本年度のアンケートでの満足度は、緩やかな右上がり呈し、最終的には81.7%と目標を上回る実績を残すことができた。

次年度は、アンケートの回収率を高め、より正確な利用者の満足度を把握するとともに、コメント欄に記入された意見には真摯に対応していきたい。

2. 施設の管理状況に関する事項

(総括)

4月より指定管理者として施設を管理するにあたり、スタッフの「動物への福祉的飼育管理の徹底」とマニュアル作りなどの「運営管理体制の整備」を重点的に進めた。

動物たちの飼育管理に関しては、各動物種の飼育経験が豊富な専門家の方々からのアドバイス、新潟市内在住の獣医師の方々からの指導、NSGグループ（国際ペットワールド専門学校など）のノウハウを活用し、福祉的な飼育管理を推進することができた（2-①）。

また、スタッフの業務の理解度と習得度の向上を図るため、年間17回（延べ人数48人）の業務研修を実施した（2-②）。

さらに、より充実したイベントの提供とより効率的な施設運営を目指し、延べ230人のボランティアを受け入れた（2-③）。

①動物飼育管理状況

種類	平均頭数	主な状況
ヤギ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・24年度末に子ヤギ4頭が誕生。 ・25年度は10月から雄ヤギを導入し繁殖を進め、3月に2頭を出産。 ・26年度4月にはもう数頭が誕生予定。
ヒツジ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・24年度末に2頭の雌ヒツジが2頭ずつ出産したものの、1頭ずつ死亡した。（難産や未発達を起因とする死亡） ・11月にはオーナー元で繁殖させ、26年5月に出産予定。
アルパカ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に大人と子どもを入れ替え、子どもが4頭に。
カピバラ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に先住の1頭と新規の子ども2頭を入れ替え。
ウサギ	10	<ul style="list-style-type: none"> ・5月にアマヅジ102が腹腔内腫瘍を発症。手術を施し完治。 ・9月にアマヅジ101が陰部出血を発症。手術を施し完治。 ・10月にアマヅジ103が鼓腸症により死亡。 ・3月にアマヅジ3頭に子宮疾患予防として卵巣・子宮摘出手術を実施。
モルモット	20	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期にほぼ全ての個体が糸状菌症を発症。湿度を下げる環境整備を経て改善。 ・3月にモル15が子宮脱を発症。手術を施し完治。

②職員の研修実施状況

	実施回数	参加人数	主な研修内容
4月	5	12	那須どうぶつ王国視察、羊毛フェルト教室、他
5月	0	0	
6月	0	0	
7月	1	2	シェルターメディシン研修会
8月	2	14	不審者対応訓練、施設管理・譲渡推進勉強会
9月	1	6	救命講習（普通救命I）

10月	1	1	うだアニマルパーク命の教育研修会
11月	1	2	救命講習(普通救命I)
12月	0	0	
1月	1	2	クリップキャット作り方講習
2月	1	2	新潟県動物愛護センター視察
3月	4	7	災害対策動物関係者研修会、シェルター研修会、他
25年度	17	48	

※上記以外にも、防災訓練2回/年(要求水準2回以上/年)とコンプライアンス研修2回/年(要求水準1回以上/年)を実施。

③ボランティアの受け入れ状況

	人数	主な団体
4月	20	絵本の会どんぐり、国際ペットワールド専門学校
5月	41	絵本の会どんぐり、国際ペットワールド専門学校
6月	4	絵本の会どんぐり
7月	4	絵本の会どんぐり
8月	14	絵本の会どんぐり、国際ペットワールド専門学校
9月	25	絵本の会どんぐり、国際ペットワールド専門学校
10月	13	絵本の会どんぐり、国際ペットワールド専門学校
11月	5	絵本の会どんぐり、新にいがた市紀行製作実行委員会
12月	73	絵本の会どんぐり、国際ペットワールド専門学校
1月	11	絵本の会どんぐり、国際ペットワールド専門学校
2月	10	絵本の会どんぐり、国際ペットワールド専門学校
3月	10	絵本の会どんぐり、国際ペットワールド専門学校
25年度	230	

④施設維持管理の内容

事業仕様書に定める点検基準は確実に実行し、さらに定期清掃(床洗浄)を毎月実施し、環境衛生の向上に努めた。

※別紙「平成25年度新潟市動物ふれあいセンター施設維持管理実施一覧表」参照。

⑤守秘義務、個人情報保護、情報公開

施設を運営するにあたり頂戴する各種情報については、施設を運営する職員及び関係者以外への提供を行わないよう徹底した。また、お預かりした個人情報についても、施設外へ持ち出すことはもちろんのこと、紛失等の事故が起きないように徹底管理している。上記については、職員研修時にもコンプライアンス研修に含め、職員への徹底を図っている。尚、情報公開については、本年度は案件が0であった。

3. 指定管理料の執行状況に関する事項

(総括)

事業仕様書に沿った適切な飼育管理を実施することにより、エサ用牧草、敷きワラ、医薬品などの費用を収支計画に基づいて適正に執行することができた。結果としては若干のマイナス収支となったが、年間来場者数の目標と実績の差異を鑑みると適切な予算執行ができたものと考えられる。

水光熱費などのコストの縮減を心がけ、ウサギやカピバラに関する施設・設備の充実を実現した。またトランシーバを購入し、えさやり体験イベントや譲渡会などの円滑な運営に活用した。次年度以降もドッグランの運営や緊急時の対応に役立てていきたい。

※別紙「平成 25 年度 新潟市動物ふれあいセンター収支報告書」参照。

4. 自主事業

(総括)

本年度の自主事業としては、セミナーと工作教室を中心に実施した。両事業とも当施設の趣旨に則り「動物・環境・命」などをテーマに企画した。セミナーは無料で、工作教室は有料で実施し、その若干の収益は行政施設使用料と当施設の運営経費に充当した。

※別紙「平成 25 年度 新潟市動物ふれあいセンター収支報告書」参照。

5. 要求水準・目標値（評価指標）

(総括)

本年度の当施設に対する要求水準に関しては、ほぼ全ての目標値を上回る実績を挙げることができた。しかし「市内雇用の貢献度」については、施設管理業務を担う適任者を市内在住者から90%以上雇用することはできなかった。今後は市内での動物関連業務適任者の育成にも目を向け、市内雇用に推進する。

※別紙「平成 25 年度 公の施設目標管理型評価書」参照。

以上

◆平成25年度 新潟市動物ふれあいセンター施設維持管理実施一覧表

	維持管理項目	頻度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定期清掃	床面洗浄一部ワックス塗布	年4回	22日	20日	17日	8・29日	12・26日	9・30日	15・28日	5・18日	2・16日	14・27日	10・24日	10・31日
	ガラス清掃	年2回				16日				11日				
	照明・給排気口・高所	年1回									16日			
空調設備	給排気機器点検	年1回									9日			
消防設備	消防設備法定点検(機器点検)	年2回	22日					24日						
	消防設備法定点検(総合点検)	年1回						24日						
	消防設備自主点検	年12回	22日	31日	28日	30日	19日	9日	26日	29日	19日	20日	21日	24日
給水設備	受水槽清掃	年1回									9日			
	加圧給水ポンプ点検	年1回									9日			
	水質検査11項	年1回									9日			

平成25年度 動物ふれあいセンター 収支状況報告書
(平成25年4月～平成26年3月)

単位:円

大項目	勘定科目	年間予算	前月残	3月確定	H25年度合計
指定管理料	500 指定管理料	62,500,000	57,297,200	5,202,800	62,500,000
自主事業	516 物販収入	500,000	2,210	0	2,210
	517 体験料収入	300,000	71,186	300	71,486
	収入 計	63,300,000	57,370,596	5,203,100	62,573,696
自主事業	604 自主事業収入原価	0	34,120	34,233	68,353
	売上原価 計	0	34,120	34,233	68,353
人件費	701 人件費	42,076,680	38,570,290	3,506,390	42,076,680
	702 講師料	0	30,000	0	30,000
	人件費 計	42,076,680	38,600,290	3,506,390	42,106,680
市民サービス事業費	710 展示動物飼育管理費	4,558,320	2,449,243	962,339	3,411,582
	711 ポニー体験管理費	3,500,000	3,504,410	0	3,504,410
	714 花展示・見本園管理費	0	0	195,300	195,300
	718 印刷製本費	500,000	260,624	0	260,624
	市民サービス事業費 計	8,558,320	6,214,277	1,157,639	7,371,916
施設運營業務費	731 広告宣伝費	0	9,863	1,074,150	1,084,013
	732 消耗品費	1,000,000	601,409	372,486	973,895
	733 使用賃借料	240,000	182,625	12,594	195,219
	734 水道光熱費	6,000,000	2,976,147	378,198	3,354,345
	735 通信運搬費	360,000	260,478	22,812	283,290
	736 保険料	22,000	8,330	0	8,330
	739 租税公課	0	400	0	400
	741 旅費交通費	200,000	95,244	9,146	104,390
	743 燃料費	0	750	0	750
	744 支払手数料	33,000	12,705	1,680	14,385
	746 会議費	0	5,525	0	5,525
	749 雑費	100,000	93,975	3,150	97,120
	750 備品消耗品費	0	142,028	805,812	947,840
	施設運營業務費 計	7,955,000	4,389,479	2,680,028	7,069,507
施設維持管理業務費	761 施設清掃業務費	2,268,000	2,079,000	189,000	2,268,000
	762 施設管理業務費	525,000	481,250	43,750	525,000
	763 衛生管理業務費	1,617,000	1,482,250	134,750	1,617,000
	765 修繕費	300,000	103,425	1,474,179	1,577,604
	施設維持管理業務費 計	4,710,000	4,145,925	1,841,679	5,987,604
	支出 計	63,300,000	53,384,091	9,219,969	62,604,060
		0	3,986,505	-4,016,869	-30,364

◆平成25年度 公の施設目標管理型評価書【新潟市動物ふれあいセンター】

○要求水準・目標値(評価指標)

A：目標を上回る

B：目標どおり

C：目標を下回る

視点	評価項目	評価指標	実績	備考	自己評価
市民	入場者数	利用者20万人以上/年	340,128人		A
	交流の拡大	交流イベント4回以上/年	8回	3館合同企画	A
	多彩な事業展開	こども・動物分野のコラボ事業の実施10回以上/年	10回	熱帯魚教室、親子でお魚陶板アート、ふしぎ発見写真集、どうぶつ七夕、動物の土偶を作る、発泡スチロールでふわふわ動物作り、動物さんおえかき大会、動物コインケース、動物ぬりえ、他	B
	設置目的に合致したサービス提供	動物ふれあい体験プログラム実施回数200回以上/年	913回		A
	広報の充実	HPの情報更新20回以上/年 アクセス件数10万回以上/年	情報更新300回 アクセス47,096件		B
	利用者の満足度	利用者アンケートで「満足」が80%以上	81.7%		A
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には原則5営業日以内に回答	全て対応		A
財務	適正な財政運営	収支計画に基づく収入の確保及び費用の執行	○		A
	適正な財務管理	財務マニュアルの作成及び収支状況の記録	○		A
業務	事業の適正な実施	事業仕様書に沿った業務の実施及び遵守 各種業務マニュアルの作成	○		A
	安心・安全の確保	防災訓練2回/年以上実施 防災マニュアル及び安全管理マニュアルの作成	防災訓練2回/年		B
	コンプライアンスの徹底	職員へのコンプライアンス研修受講1回以上/年	研修受講2回/年		A
	市内産業の貢献	再委託する場合の市内事業者への再委託割合90%以上	100%	ゴミ回収	A
	市民協働の推進	市内の動物関係団体との連携事業6回以上/年	8回	ふれあい動物教室、病気を知らうコーナー、ウォークラリー、ワンちゃんリボン・マネキン展示、動物看護実習、動物飼育管理実習、グルーミング実習、熱帯魚展示、他	A
人材	労働基準の充足	労働関係法令の順守	○		A
	業務の理解度と習得度	職員の業務研修1人あたり2回以上/年	延べ17回(48人)	平均3.7回/人	A
	市内雇用の貢献度	市内住居者の雇用率90%以上	68.8%		C

1. 施設の利用状況に関する事項

①施設の利用状況

新潟市こども創造センターは、「子どもに創作活動及び体験活動の機会及び場を提供することにより、子どもの自ら生きる力を伸ばし、及び共に生きる力を育むこと」を目的に、平成25年5月25日にオープンした。

豊かな自然環境や複合的な施設の中にあること、魅力ある建物・施設が話題性を醸成したこと、自主選択できる活動がありフラットな人間関係や親子の会話を持てることなどが相まって、年度末までに年間数値目標20万人を遥かに超える274,966人の来館者があった。

また、団体利用は10月の77校団・団体をピークに約380校団・団体の利用があり、保護者とともに来館した子どもたちから「園（学校）で来て楽しかったから」の声を多く聞くことができた。

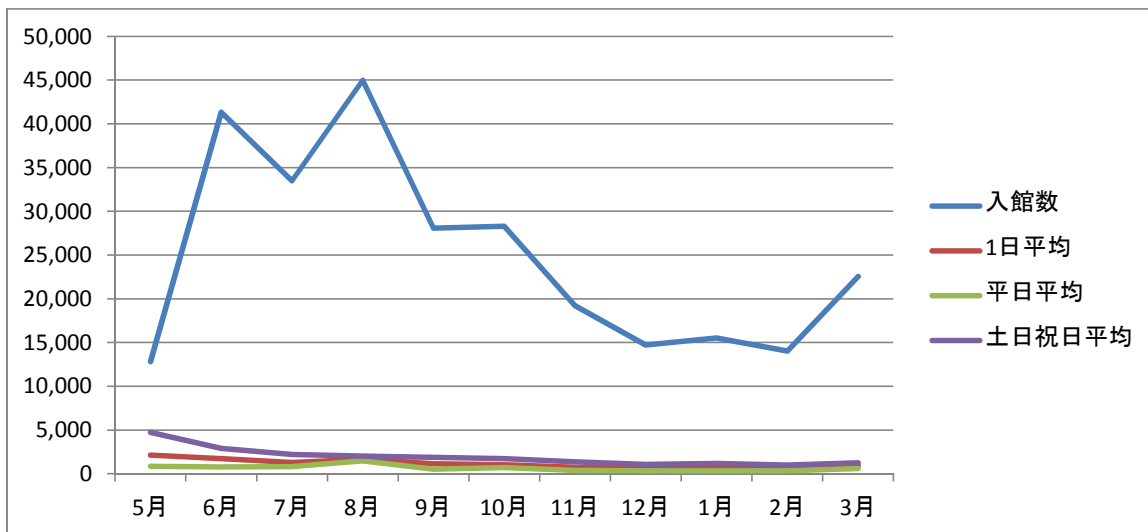
オープン当初から夏休み前までは、乳幼児を連れた方々のあそびのひろばの利用が多く見られたが、夏休み以降は帰省中の利用者を含めものづくりひろばの利用も拡大しつつある。

一方、条例に定める「こどもに創作活動及び体験活動の機会と場を提供すること」を十分に楽しんでもらうためには、平日は一日約700人、休日は約2,000人が上限数であることが明らかとなり、平成25年度はその数値を超える日が多くあったもののイベント企画やDVD上映、いくとびあ食花の他施設との連携により問題なく運営を進めることができた。

また、市民参画型の運営や新しいコミュニティを創造することは、大学・専門学校・各種団体・ボランティアとの協働が進み利用者も取り込みながら実現しつつあり、子育て支援に関しても父子対象の実践講座やベビーマッサージ教室の実施により徐々に進めることができた。

平成26年度は開館日の増加やいくとびあ食花全体のグランドオープンがあり、また、開館時間の延長も検討しており、活動内容のより一層の充実とともに保守・安全システムの継続が急務となっている。

(入館者数推移)



②入館者数

月	平成25年			平成24年			前年対比 (合計)
	駐車場側	交流センター側	合計	駐車場側	交流センター側	合計	
4月	—	—	0	—	—	0	—
5月	1,522	11,286	12,808	—	—	0	—
6月	39,632	1,692	41,324	—	—	0	—
7月	32,599	867	33,466	—	—	0	—
8月	44,027	944	44,971	—	—	0	—
9月	26,685	1,381	28,066	—	—	0	—
10月	26,949	1,350	28,299	—	—	0	—
11月	18,661	562	19,223	—	—	0	—
12月	14,306	404	14,710	—	—	0	—
1月	15,179	359	15,538	—	—	0	—
2月	13,653	352	14,005	—	—	0	—
3月	22,052	504	22,556	—	—	0	—
合計	255,265	19,701	274,966	0	0	0	—

③視察等の受入れ状況

1) 総括

4月は新しい施設の開館事前視察で農林水産大臣や副大臣をはじめ、新潟市長や副市長等市関連の視察が行われた。

5月に入り小中学校長会・幼稚園園長会などに、こども創造センターの施設概要の説明を実施し、積極的な利用を依頼した結果を受けて校園の視察も増加した。加えて、今後広報等で協力をいただくマスコミ関係者などを対象に順次視察会を実施。

以降は県内外からの行政視察や大学・専門学校も増加して来た。

2) 月別推移

月	件数	人数	備 考
4月	14	188	新潟市関係他
5月	21	404	新潟市議会議員、マスコミ関係他
6月	15	151	区役所関連、北区校長会
7月	13	235	新潟市小研図画工作部、商工会議所
8月	7	144	全国市議会議長会指定都市協議会他
9月	6	33	東区校長会
10月	8	243	新潟こども医療専門学校
11月	6	131	政令指定都市会計管理者
12月	2	16	先進自治研究会
1月	3	30	I N E X 推進協議会
2月	3	48	五泉市役所こども課
3月	0	0	
合計	98	1,623	

④創作体験活動

1) 総括

センターは、こどもたちの興味・関心と主体性を引き出すことを主眼として活動を進めています。創作活動や体験活動を通して創造性や主体性が高められ、こどもの豊かな心を育てるように取り組んでおり自己選択・判断できるように活動の目的や制作過程を指示書や資料・写真の掲示で分かりやすく提示している。

部門別では、ものづくり部門の活動として、造形活動を通して創造することの喜びや楽しさを味わってもらうために、「魔法の指示書」を中心に確立し充実を図っている。

一方、あそびのひろば部門では施設の環境を活かした自身の選択やスタッフがリードするあそびや身体トレーニングの充実により、人との関わり方・コミュニケーション力等社会性を育むことも支援の一環として実施している。また、材料や用具による事故防止への安全対策、後片付けや整理・整頓にも十分配慮している。

個人向けプログラムの他に団体プログラムも企画し、校園を中心とした学校・大学・教育関連や地域とも連携を取りながら、今後も展開して行きたい。

2) 月別推移

項目	期 間	件数	人 数	備 考
センター運営事業	4月	—	—	
	5月	7	728	魔法の指示書
	6月	38	2,311	魔法の指示書、ダンボールハウス
	7月	47	2,515	陶芸
	8月	48	2,842	オープン粘土
	9月	44	1,740	火焰型土器
	10月	46	1,903	ダイナミック絵の具
	11月	47	1,625	〃
	12月	40	1,225	ペーパーリース
	1月	28	828	魔法の指示書
	2月	32	1,178	ダイナミック絵の具
	3月	42	2,088	〃
	合計	419	18,983	
	こども関連団体・個人等との連携事業	4月	—	—
5月		4	61	陶芸教室
6月		4	74	親子陶芸
7月		5	102	〃
8月		8	306	お魚陶板アート
9月		15	248	こま作り
10月		13	146	パステルアート
11月		24	765	みずつちプロジェクト
12月		18	415	クリスマスツリー
1月		14	210	陶芸でコーヒーカップ作り
2月		12	160	ベビーマッサージ
3月		14	224	〃
合計		131	2,711	

教育機関との連携 事業	4月	—	—	
	5月	0	0	
	6月	1	42	附属中学校
	7月	2	66	職業体験
	8月	2	300	県美術教育研究会
	9月	1	33	市小研図画工作部
	10月	0	0	
	11月	0	0	
	12月	0	0	
	1月	0	0	
	2月	0	0	
	3月	0	0	
	合計	6	441	
	総 合 計		556	22, 135

⑤団体利用について

1) 総括

年度当初はチラシ・パンフレット等を保育園・幼稚園、新潟市内全小中学校、特別支援学校へ配布を行い、その後に園長会・校長会にも出席をして積極的に周知を図った。遠足・園外活動や行事の一環とした利用が多く見受けられ、夏休み期間には町内会や公民館の小学生を中心としたこども会の利用も多かった。特に10月は75先3,928人の利用があり、一般利用者とも活動に支障を来たさないよう調整に多忙を極めた。

また、その他の団体利用については、子育て支援サークルや区役所等が主体であり利用頻度を高めるための広報活動を展開したい。

2) 月別推移

項目	期 間	件数	人 数	備 考
団体利用	4月	—	—	
	5月	4	211	保育園、幼稚園
	6月	32	1,636	校園、特別支援学校
	7月	52	1,851	校園、ひまわりクラブ
	8月	43	1,636	児童クラブ、子供会
	9月	43	2,170	校園、特別支援学校
	10月	75	3,928	〃
	11月	44	1,806	〃
	12月	10	429	保育園、幼稚園
	1月	9	339	〃
	2月	18	969	校園、特別支援学校
	3月	34	1,404	〃
	合計	364	16,379	

その他団体利用	4月	—	—	
	5月	0	0	
	6月	2	30	子育て支援サークル
	7月	1	15	子育て家族応援スペース
	8月	0	0	
	9月	0	0	
	10月	2	58	保育ボランティア講習会
	11月	1	46	スペースくろさき
	12月	1	12	中学校教育研究会
	1月	1	98	長岡こども医療専門学校
	2月	0	0	
	3月	6	130	中央区役所交通安全教室
	合計	14	389	
総合計	378	16,768		

⑥交流イベントについて

1) 総括

25年度はオープニングイベントを含め7回のイベントを開催した。三施設合同開催として実施し、特色を活かして季節感あふれるWSにより、多くの来場者があり好評であった。反面、人気のWSは開催時間が被ってしまい参加できないとの声があり、後日検討をしたものの対応が難しく課題を残した。

2) 月別推移

項目	期 間	件数	人 数	備 考
イベント	4月	—	—	
	5月	1	9,477	オープニングイベント
	6月	0	0	
	7月	0	0	
	8月	1	6,416	夏休みこどもまつり
	9月	1	2,979	動物ふれあいフェスタ
	10月	1	3,804	秋の収穫祭
	11月	—	—	
	12月	1	3,708	クリスマスフェスタ
	1月	1	1,707	にいがた体感フェスタ
	2月	0	0	
	3月	1	8,982	春花・舞花
	合計	7	37,073	

⑦コラボ事業について

1) 総括

主に動物ふれあいセンターとの共同事業であり、七夕飾りをこども創造センターで作り、動物ふれあいセンターで飾り付けたものやきれいな熱帯の水生物の生態を学び、その美しさを絵で描いたもの。その他は動物の皮を使って小銭入れを作成する体験講座であるが、材料費が高くて若干人気薄であった。今後は内容の検討を深めて行きたいと考える。

2) 月別推移

項目	期 間	件数	備 考
コラボ事業	4月	—	
	5月	0	
	6月	0	
	7月	1	どうぶつ七夕飾りをつくろう
	8月	2	動物のコインケース作り、熱帯の水生物を作ろう
	9月	2	動物のコインケース作り、盲導犬体験
	10月	1	動物のコインケース作り
	11月	0	
	12月	1	動物のコインケース作り
	1月	1	〃
	2月	1	〃
	3月	3	キャンドル作り、動物のコインケース作り
	合計		12

⑧展示等について

1) 総括

こども達の作品を中心に展示しており、特に光と音のホールでのブラックライトを使用したダイナミック絵の具や作家を講師としたWS作品のお魚陶板アート、うつろうN I I G A T Aは大変喜ばれた。また、新潟教育アート展の活動部門を紹介する場を提供し、こども達のすばしいかわりや豊かな感性と創造力が発揮された作品の展示も好評であった。

2) 月別推移

項目	期 間	件数	日数	主な内容
展示	4月	—		
	5月	2	30	シンボリツリー、ブラックライトの世界
	6月	1	30	ブラックライト
	7月	1	31	〃
	8月	2	14	海底二万里の世界、教育アート展
	9月	2	30	ブラックライトの世界、お魚陶板ア
	10月	2	31	ブラックライトの世界、お魚陶板ア
	11月	4	31	大きなおにぎりを作ろう、お魚陶板アート
	12月	3	31	うつろうN I I G A T A、陶板アート
	1月	2	31	〃
	2月	2	24	陶板アート、雑壇
	3月	3	20	陶板アート、雑壇、教育アート展
	合計		24	0

⑨ホームページについて

1) 総括

情報の発信に際しては、タイムリーでより多くの情報量を見やすく、分かりやすく提供できるように心掛けている。
 運営に関する内容についてはご案内項目を追加したり、団体プランはプログラムを詳細に明示して利便性を高めるべく常に更新している。また、スマートフォン用サイトも作成した。

2) 月別推移

項目	期 間	更新回数	アクセス数	備 考
ホームページ	4月	—	—	
	5月	2	87	
	6月	10	4,714	
	7月	6	7,837	
	8月	12	9,764	
	9月	12	5,457	
	10月	13	4,851	
	11月	12	5,003	
	12月	22	4,951	
	1月	19	5,890	
	2月	16	4,926	
	3月	32	7,004	
	合計	156	60,484	

2. 施設の管理状況に関する事項

①会議等

1) 総括

今年度は全体会議開催が1回のみであったが、次年度からは前期・後期に各1回ずつ開催して意志統一を図る。運営体制を強化するためにリーダー会議を2回開催し、センターの決定機関として重要課題を中心に討議している。また、係別の打合せも実施してイベント企画やWSを含めた報告書を作成して周知徹底を図っている。

2) 月別推移

項目	期 間	実施回数	主な内容
会議	4月	—	例 リーダー会議、〇〇会議
	5月	3	リーダー・サブリーダー会議
	6月	0	
	7月	1	リーダー会議
	8月	1	〃
	9月	1	全体会議
	10月	2	リーダー会議
	11月	2	〃
	12月	2	〃
	1月	2	〃
	2月	2	〃
	3月	1	〃
	合計	17	

②職員研修等

1) 総括

こどもを対象にした施設であることから、安全管理のために各種マニュアルの作成に基づく訓練や講習を実施して災害時や異常時に対応している。

また、センター利用者が快適な利用が出来るよう、外部研修にも積極的に参加し運営能力を培うとともに館内研修の実施によりスタッフ全員のスキルアップを図りつつある。

2) 月別推移

項目	期 間	実施回数	主な内容
会議	4月	2	接遇・マナー研修、コンプライアンス研修
	5月	2	事務研修、ボランティア研修
	6月	0	
	7月	0	
	8月	3	コンプライアンス研修、消防訓練、不審者対応訓練
	9月	1	救命講習（普通救命Ⅰ）
	10月	4	家庭教育支援者ステップアップ研修、受付研修
	11月	2	受付研修、救命講習
	12月	1	消防訓練
	1月	2	こどもと遊ぶコツを学ぶ講座、附属中研究発表会
	2月	3	チラシ&販促セミナー、出張WS、市民フォーラム
	3月	0	
	合計		20

③施設維持管理の内容

1) 総括

仕様書に定める点検基準は確実に実行し、さらに空調設備のフィルター清掃を追加実施して環境衛生の向上に努めた。

さらには、日常の巡回・点検により不具合などの早期発見に努めた。

*別紙 「平成25年度こども創造センター施設維持管理実施一覧表」参照。

④守秘義務、個人情報保護、情報公開

1) 総括

センターを運営するにあたり頂戴する各種情報については、センターを運営する職員及び関係者以外への提供を行わないよう徹底した。また、お預かりした個人情報についても、施設外へ持ち出さないことはもちろんのこと、紛失等の事故が起きないように徹底管理している。上記については、職員研修時にもコンプライアンス研修に含め、職員への徹底を図っている。尚、情報公開については、本年度は案件が0であった。

3. 利用料の収入に関する事項

- ・該当なし

4. 指定管理者料の執行状況に関する事項

1) 総括

予想を大きく上回る入館者数ではあったが、創作体験での実費徴収や、創作体験の内容を安価な材料でも実施できる工夫をし、さらには廃材を利用する創作体験を実施することで材料費の負担を減らすなどなど経費をコントロールしつつ、適正な執行に努めた。結果としては若干のマイナス収支となったが、年間来場者数の目標が20万人のところ、本年度の来場者数が27万5千人であったことを鑑みると適切な予算執行ができたものと考えている。

5. センター事業

1) 総括

本年度については、来場者に対するセンターのスムーズな運営に注力したため、目立ったセンター事業活動は実施できなかった。しかしながらセンターの趣旨に合致するこどもに関する活動をしている個人や団体等へはセンターを積極的に利用して頂いた。また、こどもの健全な育成に資する施設やイベント等のパンフレット、チラシ等も積極的に設置することで、センター事業に一端を担えたものと考えている。

6. ボランティア

1) 総括

6月～8月には4万人弱の来館者数がありスタッフだけでは対応しきれず、ボランティアの導入が喫緊の課題であった。6月に9人、7月に6人と徐々に登録が増えてピーク時32人となったものの、就職や諸事情により3月末では21人の登録をいただいている。活動内容の充実や自主運営を目指し、説明会や研修も逐次実施している。

2) ボランティア活動実績

登録者数： 名

項目	期 間	活動人数 (述べ)	主な活動内容
ボランティア活動実績	4月	—	例 2～4階見守り、1階造形活動補助
	5月	—	
	6月	—	
	7月	—	
	8月	9	2～4階見守り
	9月	7	”
	10月	11	”
	11月	13	2～4階見守り、1階ものづくりひろば
	12月	11	” 、 ”
	1月	12	” 、 ” 、クライミング
	2月	5	” 、 ” 、 ”
	3月	6	” 、 ” 、 ”
	合計		74

7. 自主事業

1) 総括

平成25年度の自主事業では、こども創造センターはもちろんのこと「いくとびあ食花」に来場された記念として、動物ふれあいセンターの誘客の中心である「アルパカ」、「カピバラ」に関するグッズを中心として物販事業を実施した。売上額については、さほど大きくはないものの、来場されたお客様はこども達の楽しかった思い出の記念に、またお越しになれなかったお子様へのお土産として購入されており、お客様の利便性の向上につながったものとする。また、物販についてはオープン時はペットボトル類の販売を行いお客様への利便性向上に努めた。その他、各種体験についても他施設との差別化を図りこども創造センターの独自色を出すべく特殊材料、資材を使用した創作体験を実施したのであるが、その際の材料費等の実費徴収として体験料を頂戴した。尚、報告書記載の通り自主事業の収益金はセンターの運営経費として拠出している。

・別紙「新潟市こども創造センター 平成25年度自主事業報告書」参照。

8. その他

①クレーム及び利用者アンケート

1) 総括

大人の方のみの入館を制限していることへのクレームが多く、こども未来課の見解を統一して対応してきたが、その後見学に限り施設見学申込書を記入いただき入館を可能とした。その他アンケート結果や要望等については仕様書に基づき、回答を含めた集約結果を館内に掲示している。

2) クレーム月別推移

項目	期 間	発生件数	主な内容
クレーム	4月	—	例 受付不備、〇〇
	5月	4	点字使用ブロックについて、大人のみ入館制限
	6月	2	大人のみ入館制限、月曜日休館
	7月	3	大人のみ入館制限、すべり台のマナー
	8月	3	2階の利用制限、イベント受講の拒否、職員対応
	9月	0	
	10月	2	入館証の必要性、コース変更の煩わしさ
	11月	0	
	12月	1	陶芸作品の管理不十分
	1月	1	イベント・WS申込み方法について
	2月	0	
	3月	0	
	合計		16

3) アンケート集計結果

・別紙「新潟市こども創造センター 平成25年度アンケート集計結果」参照。

②けが・事故等

1) 総括

開館当初は4階足湯周辺のデッキを素足で利用したために、とげが刺さったケースが複数発生した。その他すべり台での擦過傷、走っての衝突等があるも比較的軽微であり親御さんから治療をお願いしているが、専門医をご希望の先には、近隣の病院等をご案内し連絡を取り迅速な対応を心掛けている。

2) 月別推移

項目	期 間	発生件数	主な内容	
けが・事故	4月	—	例 とげ、〇〇	
	5月	10	とげ、すべり台での擦過傷、衝突で歯科トラブル	
	6月	12	とげ6件、すべり台での擦過傷	
	7月	4	転倒で口を切る、すべり台で衝突、毛虫に刺された	
	8月	9	とげ4件、転倒出血3件、衝突で鼻血	
	9月	4	旗ボールの転倒で打撲、すべり台での擦過傷	
	10月	3	とげ、階段転倒で歯茎から出血、爪が剥離	
	11月	3	とげ、指が切れ出血（原因不明）、鋸で指先を切る	
	12月	2	すべり台で頭部打撲、爪割れ	
	1月	1	鼻血	
	2月	1	すべり台で擦過傷	
	3月	3	転倒、グルーガンで火傷、嘔吐	
	合計		52	

③物損・施設破損等

1) 総括

物損・破損の原因はその多くが初期不良によるもので、施工業者が速やかに補修を行った。また、これらの物損・破壊によるけがや事故などに発展したケースはない。

2) 月別推移

項目	期 間	発生件数	主な内容	
物損・施設破壊等	4月	6	①3F、4Fの手すり歪曲 ②1Fトイレ温水器漏水 ③ACP室外機信号回路不具合 ④警備用センサー不具合 ⑤芝生の剥がれ ⑥2Fトイレ入口壁と3Fキャットウォークにクラック	
	5月	2	①2Fダウンライト不具合 ②1Fフローリング床の不具合	
	6月	1	①4F畳スペースガラス破損	
	7月	0		
	8月	3	①3Fあそびの広場内階段手すり不具合 ②3F外壁にクラック ③シンボルツリーの外板剥がれ	
	9月	0		
	10月	0		
	11月	1	①シンボルツリーの音響機器故障	
	12月	0		
	1月	0		
	2月	1	①受水槽への給水管凍結、断水	
	3月	0		
	合計		14	

H25年度 新潟市こども創造センター 来場者アンケート集計

月	回答数	センターの利用回数					年齢								性別		お住まい										交通手段						利用人数							
		初	2回	3回	4回	5回以上	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	男	女	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	新潟市外	自家用車	バイク・自転車	徒歩	路線バス	タクシー	その他	1名	2名	3～5名	6～9名	10名以上(団体)				
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	7	3	2	2	0	0	0	0	3	1	0	1	0	0	1	5	0	1	2	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0		
6	113	93	11	4	0	0	15	4	39	17	1	5	1	0	29	68	4	11	30	8	8	5	22	2	18	43	0	0	0	1	0	0	19	81	6	0	0			
7	36	29	4	1	0	2	13	1	7	5	1	0	0	0	8	28	1	1	13	0	5	2	7	0	18	33	0	0	0	0	0	0	8	26	1	0	0			
8	75	52	18	4	0	0	32	3	27	4	0	0	0	0	18	55	1	15	18	4	4	2	9	2	14	66	0	0	0	0	0	0	15	44	9	0	0			
9	16	9	0	1	1	4	5	1	4	3	0	0	0	0	2	13	0	0	2	2	2	0	3	0	18	14	0	0	1	0	0	0	3	9	2	0	0			
10	8	5	2	0	1	0	2	0	4	2	0	0	0	0	1	7	1	0	6	0	0	0	0	0	18	8	0	0	0	0	0	0	3	4	1	0	0			
11	12	4	2	1	3	1	7	0	2	0	0	1	1	0	5	5	1	4	4	1	1	0	0	0	18	11	0	0	0	0	0	17	0	1	0	0				
12	21	6	5	4	2	4	8	2	6	1	1	3	0	0	4	17	0	3	2	1	0	1	8	0	18	16	1	0	3	0	0	0	3	12	0	0	0			
1	47	15	10	6	0	15	19	1	10	5	2	5	1	2	21	25	1	6	10	3	7	3	6	0	18	40	2	0	0	1	1	0	8	26	1	0	0			
2	33	6	5	3	5	11	14	0	8	3	1	5	0	0	6	24	1	8	9	1	1	1	7	0	18	29	0	0	1	0	0	0	12	16	2	0	0			
3	26	11	6	6	2	0	14	0	5	2	1	1	3	0	11	14	1	2	3	0	3	0	5	1	18	23	0	1	0	0	0	1	4	16	3	0	0			
合計	394	233	65	32	14	37	129	12	115	43	7	21	6	2	106	261	11	51	99	21	31	14	68	5	178	283	3	1	5	2	1	18	77	240	25	0				
有効回答数 での割合		61.2	17.1	8.4	3.7	9.7	38.5	3.6	34.3	12.8	2.1	6.3	1.8	0.6	28.9	71.1	2.3	10.7	20.7	4.4	6.5	2.9	14.2	1.0	37.2	95.9	1.0	0.3	1.7	0.7	0.3	5.0	21.4	66.7	6.9	0.0				

月	回答数	同伴のお子様									イベント情報の入手手段										職員の待遇				施設は楽しく利用できたか			
		未就園児	幼稚園	保育園	小学生			中学生	高校生以上	大人のみ	市報	HP	新聞	雑誌・情報誌	TV	ラジオ	友人等	チラシ	その他	満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満	
					1,2年生	3,4年生	5,6年生																					
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	5	1	1	0	6	0	0	1
6	113	12	6	11	38	14	5	1	0	0	34	5	6	19	16	0	20	2	11	41	40	8	5	48	33	10	8	
7	36	8	6	2	11	14	9	0	1	0	10	3	0	3	2	0	10	0	13	22	6	1	2	24	6	3	1	
8	75	19	18	9	26	29	6	3	4	0	14	7	4	10	5	0	31	1	8	30	19	11	7	27	24	12	3	
9	16	5	5	2	2	5	1	2	1	0	3	4	1	4	2	0	5	0	11	11	2	0	0	9	4	0	0	
10	8	2	1	1	3	2	1	0	2	0	4	0	0	0	1	0	4	0	11	5	1	0	1	5	0	2	0	
11	12	3	2	4	2	1	1	0	3	0	1	1	1	0	2	0	4	0	11	7	1	0	1	6	3	0	0	
12	21	3	6	7	9	1	0	1	1	0	3	2	2	4	1	0	8	0	11	13	6	0	0	14	3	1	1	
1	47	13	7	8	8	12	2	0	1	0	7	5	2	1	3	0	23	0	11	26	10	2	2	27	6	3	3	
2	33	8	7	9	9	2	2	1	2	0	9	3	4	1	2	1	15	0	11	20	9	0	0	21	8	0	0	
3	26	2	3	8	12	8	0	0	2	0	3	0	2	1	4	0	10	0	11	14	6	3	1	18	6	0	0	
合計	394	75	61	61	121	88	27	8	17	0	89	30	24	44	39	1	130	3	109	194	101	26	19	205	93	31	17	
有効回答数 での割合		16.4	13.3	13.3	26.4	19.2	5.9	1.7	3.7	0.0	19.0	6.4	5.1	9.4	8.3	0.2	27.7	0.6	23.2	57.1	29.7	7.6	5.6	59.2	26.9	9.0	4.9	

平成 25 年度新潟市こども創造センター自主事業実施報告書（集約）

■目的：平成 25 年 5 月 25 日のオープンより、当施設に来館されるお客様への便益を図るべく実施するもの。

また、動物商品を販売することにより、こどもに対しての当施設の印象付けを創作活動、遊びの広場とは違った角度から行うことができるとともに、隣接する動物ふれあいセンターへの誘導及び宣伝効果も期待するもの。

さらには、いくとぴあ食花エリア全体についてのお客様の口コミによる宣伝効果を期待するもの。

■実施日：平成 25 年 5 月 25 日（土）～平成 26 年 3 月 31 日（金）

■実施内容：①こども創造センター内での物販を実施（ミニショップ）

②飲料収入（H25.5.25～26）

■販売品目：①こども創造センター内での物販を実施（ミニショップ）

商品名	売値（税込）
新潟こしばか刺繍ミニタオル(白)	420 円
新潟こしばか刺繍ミニタオル(茶)	420 円
新潟こしばか刺繍ミニタオル(ピンク)	420 円
新潟こしばか 3D ノート	420 円
ふあふあカピバラ S (茶)	930 円
ふあふあカピバラ S (薄茶)	930 円
やまこしアルパカチャンヌイグルミ(白)	1,050 円
やまこしアルパカチャンヌイグルミ(茶)	1,050 円
やまこしアルパカチャンヌイグルミ(ピンク)	1,050 円
やまこしアルパカチャン BC(白)	420 円
やまこしアルパカチャン BC(茶)	420 円
やまこしアルパカチャン BC(ピンク)	420 円
すやすやカピバラ S (ベージュ)	900 円
すやすやカピバラ S (ココア)	900 円
すやすやカピバラ L (ベージュ)	2,100 円
すやすやカピバラ L (ココア)	2,100 円
すやすやカピバラ L (茶)	2,100 円
タオル	100 円
お子様用パンツ	200 円
おむつ S サイズ (3 枚入り)	100 円

おむつMサイズ(2枚入り)	100円
おむつLサイズ(2枚入り)	100円
はがき みどり	150円
はがき オレンジ	150円
はがき きみどり	150円
はがき 黄色	150円
ダイカーはがき カピバラ	250円
ダイカードはがき アルパカ	250円
いくとぴあ食花缶バッチ(内部販売用)	500円
いくとぴあ食花ピンバッチ(内部販売用)	1,200円

②飲料

商品名	売値(税込)
コカ・コーラ 500PET	150円
コカ・コーラゼロ 500PET	150円
ソウケンビチャ 500PET	150円
アヤタカ 500PET	150円
ファンタグレープPET	150円
クーオレンジ 500PET	150円
クーアップル 500PET	150円
いろはす 555PET	110円
いろはすみかん 555PET	140円
いろはすりんご 555PET	140円

- 考察：アルパカやカピバラなど動物ふれあいセンターの主要な誘客要素となる動物のグッズを販売することにより、こども創造センターと動物ふれあいセンター双方への誘導にわずかでも資することが出来たものとする。
- 収支状況も当初予算に比してかなりの売上を計上することができ、このことから、目的にある動物ふれあいセンターへの誘導及び宣伝効果もあったものと思われ、また、いくとぴあ食花エリア全体についてのお客様の口コミによる宣伝効果にも若干貢献したものとする。

■収 支：

単位：円

項目	金額	備考	
収入	物販収入	756,800	グッズ等
	物販収入	146,390	飲料販売
	雑収入	▲670	
	収入計	902,520	
支出	グッズ等原価	601,825	
	飲料原価	118,431	
	目的外使用料	49,359	ミニショップ (H25.5.25～ H26.3.31 まで)
	目的外使用料	100	飲料販売
	支出計	769,715	
収支	132,805		

*収差差額については、こども創造センターの運営経費として支出した。

「平成 25 年度 こども創造センター 収支状況報告書度」参照

*収入内訳は「こども創造センター 自主事業売上集計表 H26 年度集計」
を参照

以上

こども創造センター 自主事業売上集計表 H25年度集計

月	物販	その他	雑収入	合計	備考
4月	0	0	0	0	
5月	213,040	0	0	213,040	
6月	123,640	0	-1,800	121,840	
7月	77,700	0	-360	77,340	
8月	139,480	0	1,050	140,530	
9月	63,900	0	450	64,350	
10月	99,860	0	0	99,860	
11月	22,020	0	0	22,020	
12月	21,410	0	0	21,410	
1月	29,080	0	-10	29,070	
2月	14,130	0	0	14,130	
3月	98,930	0	0	98,930	
総合計	903,190	0	-670	902,520	